科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 1 7 日現在

機関番号: 14401

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2015~2021

課題番号: 15H03329

研究課題名(和文)市場仲介と経済成長:日欧4研究所による国際共同研究プロジェクト

研究課題名(英文)Market intermediation and economic growth

研究代表者

堀井 亮(Horii, Ryo)

大阪大学・社会経済研究所・教授

研究者番号:90324855

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 14,510,000円

研究成果の概要(和文):これまでの経済成長理論では、財の開発・生産を行う企業と家計が財や労働力を直接取引する状況を考えており、実際の経済取引や情報の伝達で重要な役割を果たしている市場仲介者の働きを明示的に考えてこなかった。しかし、近年の情報技術の革新や新しい市場技術の登場は、市場仲介や情報が経済成長を牽引したり、場合によってはバブル的な熱狂を発生させる可能性を示唆している。そこで、経済成長分析・実証分析に強みをもつ国内3経済系研究所と、市場仲介の先進的研究実績を持つオランダのティンバーゲン研究所が連携し、テーマに関連する研究を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義 市場仲介や市場取引は、情報や知識の伝播を促進する。知識の蓄積は経済成長の源泉であり、その意味でも、市 場仲介や市場取引の重要性が明らかになった。一方、市場仲介や情報の伝播がバブル的な資産価格の状況を生み 得ることや、家計がリスクに関する情報を急激に得ると消費や雇用が抑制され得ることも明らかになった。これ らの両面性を踏まえつつ、適切な政策設計を行うことの重要性が示唆される。

研究成果の概要(英文): Previous studies in economic growth have been considering the situation in which producing firms and households can trade goods and labor directly and did not explicitly introduce intermediate agents who have essential roles in actual market transactions. However, recent innovations in information technology and the rise of new transaction technologies suggest that improved market mediation could affect economic growth or possibly give rise to a bubble-like phenomenon. In this project, three research institutes in Japan collaborated with Tinbergen Institute in Netherland to conduct related research.

研究分野: 経済学

キーワード: 経済成長 市場仲介 情報 バブル

1.研究開始当初の背景

これまでの経済成長理論では、財の開発・生産を行う企業と家計が財や労働力を直接取引する状況を考えており、実際の経済取引や情報の伝達で重要な役割を果たしている市場仲介者の働きを明示的に考えてこなかった。一方、市場仲介のミクロ経済的研究は、個々の取引メカニズムにのみ興味を持っており、マクロ変数への波及や長期の動学的効果を考えていなかった。しかし、近年の情報技術の革新や新しい市場技術の登場は、市場仲介や情報が経済成長を牽引したり、場合によってはバブル的な熱狂を発生させる可能性を示唆している。

2.研究の目的

経済成長分析・実証分析に強みをもつ国内3経済系研究所と、市場仲介の先進的研究実績を持つ オランダのティンバーゲン研究所が共同して、「経済成長やバブルの発生」と「市場仲介や情報 伝達」の相互作用を解明する。

3.研究の方法

- (1) 市場仲介についてはティンバーゲン研究所の渡辺誠を中心として研究を進める。まず、市場仲介者(Middlemen)を通じたサーチ活動について基礎理論を構築する。次にその基礎理論を、現実経済に合わせて拡張する。さらに、マクロ経済との関連をモデル化する。
- (2) 経済成長とバブルの基礎理論に関しては、大阪大学社会経済研究所の堀井亮、神戸大学経済 経営研究所の上東貴志が中心となり研究を進める。また、情報とマクロ経済の関連について も分析する。
- (3) データを用いた計量的分析については、京都大学経済研究所(当時所属)の奥井亮が研究を 進める予定であったが、プロジェクト期間途中で上記研究者が海外転出したことから、一橋 大学経済研究所の中島賢太郎をプロジェクトメンバーに加え実証分析を行うこととした。
- (4) 各研究所において主体的に研究を行うが、相互研究訪問、セミナーなどの実施により、研究シナジーや研究手法の普及を目指す。

4. 研究成果

(1) 市場仲介者 (Middlemen) について基礎理論を構築した。情報にサーチ的摩擦がある市場において、市場仲介者が在庫を持ち、売買を仲介するメリットを示すフレームワークが構築された。これらの結果は、Middlemen: the visible market makers, Japanese Economic Review, 69-2 (2018), 156-170 および、Middlemen: a directed search equilibrium approach, BE Journal of Macroeconomics (Advances), 20-2 (2020), 1-37 などに掲載された。また、経済成長理論では研究により財の多様性が増加することが成長の源泉となるが、それに関連し、上記の市場仲介理論フレームワークを多様な財が取引される状況に拡張した。その結果は Multiproduct intermediaries, Journal of Political Economy, 129-2 (2021), 421-464 として掲載された。さらに、その手法をマクロ経済に応用し、市場仲介が資産価格

バブルの要因となることを解明した。その研究は、Rational bubbles and middlemen として Theoretical Economics に掲載予定である。

- (2) 経済成長の源泉やパブルの発生・崩壊に関する基礎理論の構築と、情報とマクロ経済の相互関係に関する研究を行った。長期の経済成長の源泉は技術進歩にあると考えられているが、従来の経済成長理論フレームワークでは、コブダグラス生産関数の特殊ケースを除き、労働増加的な技術進歩しか取り扱うことができなかった。しかし、消費財と資本財の相対価格のデータは、資本増加的技術進歩の存在を示しており、それをモデルに取り入れるための理論を構築した。その結果は A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change," ISER Discussion Paper 1051 としてまとめられた。また、市場ショックや災害なのどのリスクについての家計による情報収集をベイズ学習プロセスとして定式化し、マクロ経済の反応を分析し、Financial Crisis and Slow Recovery with Bayesian Learning Agents," International Journal of Economic Theory として発表した。パブルの崩壊や発生についての研究も行い、International Transmission of Bubble Crashes in a Two-Country Overlapping Generations Model, Journal of Mathematical Economics 68, 115-126 および、A Simple Optimality-Based No-Bubble Theorem for Deterministic Sequential Economies with Strictly Monotone Preferences, Mathematical Social Sciences, Volume 91, 36-41 として発表した。
- (3) 取引と知識伝播の関連について、地理的データおよびネットワークのデータを用い、実証分析を行った。成長の源泉となる研究および知識蓄積においては、取引を行う企業間の知識スピルオーバーが重要な役割を果たしている。そのスピルオーバーが地理的距離にどの程度影響を受けるかについて研究を行い、成果が Localization of Collaborations in Knowledge Creation, The Annals of Regional Science 62(1), 119-140 に発表された。また、国内における市場取引ネットワークと、海外進出の関連についても実証分析を行い、Do sourcing networks make firms global? Microlevel evidence from firm-to-firm transaction networks, Japanese Economic Review, 72(1), 65-96, January 2021 に掲載された。
- (4) 上記の研究を行う過程で、国内外の研究所の相互交流を行った。研究代表者がオランダのティンバーゲン研究所で長期滞在研究を行ったほか、ティンバーゲン研究所から大阪大学社会経済研究所へ、長期での研究者受け入れを行った。セミナーなどの報告を多く行い、研究者間での知識交換や、研究成果の普及に努めた。また、市場取引によって発生するバブルや、バブルの経済成長に対する影響について、ロンドン大学より研究者を招へいし、大阪大学社会経済研究所主催の公開レクチャー「資産バブルと経済成長」を行った。国内の多数の大学から参加があり、関連する研究についての国内の研究レベル向上に貢献できたとすれば幸いである。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計56件(うち査読付論文 35件/うち国際共著 23件/うちオープンアクセス 15件)

1 . 著者名	4.巻
Horii Ryo、Ono Yoshiyasu	Forthcoming
2 . 論文標題	5 . 発行年
Financial crisis and slow recovery with Bayesian learning agents	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/i jet.12322	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Casey Gregory、Horii Ryo	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
A Generalized Uzawa Growth Theorem and Capital-Augmenting Technological Change	2022年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
SSRN Electronic Journal	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2139/ssrn.4007775	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 .巻
堀井 亮	98(20)
2.論文標題 パンデミックと経済 ペスト、HIVでも示された人命と成長のトレードオフ (歴史でわかる経済危機 : 大恐 慌再来でどうなる世界)	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
エコノミスト	28-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左仰
掲載編文のDDOI(デジタルオプジェクト試別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ***	
1 . 著者名	4.巻
堀井 亮	97(30)
2.論文標題	5 . 発行年
学者が斬る 視点争点 成長持続の条件は産業の淘汰	2019年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
エコノミスト	68-69
Heathan Doll (""" but he will I will	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_

1 . 著者名	4 . 巻
Awaya Yu、Fukai Hiroki、Watanabe Makoto	62
2 . 論文標題	5.発行年
A MODEL OF COLLATERAL: ENDOGENIZING THE BORROWING CONSTRAINT	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
International Economic Review	1131 ~ 1151
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/iere.12506	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Rhodes Andrew、Watanabe Makoto、Zhou Jidong	129
2.論文標題	5 . 発行年
Multiproduct Intermediaries	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Political Economy	421 ~ 464
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1086/711917	#
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Watanabe Makoto	20
2.論文標題	5.発行年
Middlemen: A Directed Search Equilibrium Approach	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The B.E. Journal of Macroeconomics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1515/bejm-2019-0258	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Matsuoka Tarishi、Watanabe Makoto	108
2 . 論文標題	5 . 発行年
Banking crises and liquidity in a monetary economy	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Economic Dynamics and Control	103724 ~ 103724
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.jedc.2019.103724	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	
	4 . 巻
中島賢太郎	123
I PUREATOR	
2 *************************************	F 38/- F
2.論文標題	5 . 発行年
ソーティングと地域間経済格差	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
住宅土地経済	18-26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
60	
	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Itoh Ryo、Nakajima Kentaro	72
2 . 論文標題	5 . 発行年
Do sourcing networks make firms global? Microlevel evidence from firm-to-firm transaction	2020年
networks	2020—
	C 871.8% 5.7
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The Japanese Economic Review	65 ~ 96
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の右無
	査読の有無
10.1007/s42973-020-00061-9	有
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
a フファフ にかくは ない!! 人は4 フファフ じヘル 四共	
	, Mr
1.著者名	4 . 巻
中島 賢太郎	-
7 論文種類	5 発行任
	5 . 発行年
2 . 論文標題 交通インフラ整備の政策評価研究	5.発行年 2019年
交通インフラ整備の政策評価研究	2019年
交通インフラ整備の政策評価研究	2019年
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究	2019年
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究 3.雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6 . 最初と最後の頁 24-25
交通インフラ整備の政策評価研究 3.雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6 . 最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究 3. 雑誌名 自動車交通研究 2019 弱載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無
交通インフラ整備の政策評価研究 3.雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6 . 最初と最後の頁 24-25
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019
交通インフラ整備の政策評価研究 3.雑誌名 自動車交通研究 2019 『『「でジタルオブジェクト識別子」 なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 葛載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019
交通インフラ整備の政策評価研究 3. 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019
交通インフラ整備の政策評価研究 3. 雑誌名 自動車交通研究 2019 講職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2. 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019高載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名 応用地域学研究	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名 応用地域学研究 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23
交通インフラ整備の政策評価研究 3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名 応用地域学研究	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23
交通インフラ整備の政策評価研究 3. 雑誌名 自動車交通研究 2019 引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2. 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3. 雑誌名 応用地域学研究 引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23 査読の有無 有
交通インフラ整備の政策評価研究3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定3 . 雑誌名 応用地域学研究場載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34438/arsc.2019.23_1	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23 査読の有無 有
3 . 雑誌名 自動車交通研究 2019 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 中島 賢太郎、岡本 亮介 2 . 論文標題 日本の地域間賃金格差における移住によるソーティング効果の測定 3 . 雑誌名 応用地域学研究	2019年 6.最初と最後の頁 24-25 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 2019 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1~23

. ++5	. 214
1. 著者名	4 . 巻
Gokan Toshitaka、Kuroiwa Ikuo、Nakajima Kentaro	62
2 於中語	F 至4二年
2.論文標題	5.発行年
Agglomeration economies in Vietnam: A firm-level analysis	2019年
2 hhtt	て 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Asian Economics	52 ~ 64
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.asieco.2019.03.002	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当际六有
オーノンデン ピヘ こはない、 又はオーノンデン ピヘル 四無	-
1 英本の	A #
1 . 著者名	4.巻
高槻 泰郎,上東 貴志	25
2	F 36%-7-
2. 論文標題	5.発行年
投機かリスクヘッジか 堂島米市場再考	2022年
2 14th 47	C = 971 = 14 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済史研究	31-57

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ + +	同數井茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kamihigashi Takashi、Keskin Kerim、Saglam Cagri	91
	= 3×1= h=
2.論文標題	5.発行年
Organizational refinements of Nash equilibrium	2021年
	C 877 87
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Theory and Decision	289 ~ 312
	本柱の大畑
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11238-021-09812-5	有
+ 1,7,4,7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi	該当する 4 . 巻 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi	該当する 4 . 巻 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名 Journal of Computational Social Science	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan 's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名 Journal of Computational Social Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名 Journal of Computational Social Science	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名 Journal of Computational Social Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42001-021-00113-z	該当する 4 . 巻 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shibamoto Masahiko、Takahashi Wataru、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Japan 's monetary policy: a literature review and empirical assessment 3 . 雑誌名 Journal of Computational Social Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

1 . 著者名	4 . 巻
Kamihigashi Takashi	2020
2 . 論文標題	5 . 発行年
Interchanging a limit and an integral: necessary and sufficient conditions	2020年
į ,	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Inequalities and Applications	-
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s13660-020-02502-w	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kamihigashi Takashi、Stachurski John	48
•	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Partial stochastic dominance via optimal transport	2020年
•	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Operations Research Letters	584 ~ 586
·	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.orl.2020.07.003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii, Takashi Kamihigashi, Kazuo Nishimura	Forthcoming
2 . 論文標題	5 . 発行年
2. 論文標題 Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model	5 . 発行年 2022年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model	
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model	2022年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名	2022年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis	2022年 6.最初と最後の頁 -
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名	2022年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis	2022年 6.最初と最後の頁 -
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2.論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2.論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2.論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3.雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time	2022年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2.論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3.雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3 . 雑誌名 Journal of Difference Equations and Applications	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 209~222
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3.雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2.論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3.雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3 . 雑誌名 Journal of Difference Equations and Applications	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 209~222
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3 . 雑誌名 Journal of Difference Equations and Applications	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 209~222
Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model 3 . 雑誌名 Pure and Applied Functional Analysis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Carpio Ronaldo、Kamihigashi Takashi 2 . 論文標題 Fast value iteration: an application of Legendre-Fenchel duality to a class of deterministic dynamic programming problems in discrete time 3 . 雑誌名 Journal of Difference Equations and Applications	2022年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 26 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 209~222

1 . 著者名	4 . 巻
- 「- 有自古 - 上東貴志	
2.論文標題	5 . 発行年
計算社会科学と経済学におけるAI	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
栗原聡監修「人と共生するAI革命最前線~人工知能がもたらす生活・産業・社会の未来像を展望する~」	427-433
12章4節	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Kamihigashi Takashi、Stachurski John	56
2.論文標題	5 . 発行年
A unified stability theory for classical and monotone Markov chains	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Applied Probability	1 ~ 22
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u>↓</u>
10.1017/jpr.2019.2	有
10.1017/jpi.2019.2	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4.巻
Gregory Casey and Ryo Horii	1051
2.論文標題	5 . 発行年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change	2019年
고 사는 다 선	1 6 単知し単後の古
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 ISER Discussion Paper	6.最初と最後の頁 1-52
ISER Discussion Paper	1-52
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1-52 査読の有無 無
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-52 査読の有無 無 国際共著
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1-52 査読の有無 無
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀井 亮	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11)
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11)
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀井 亮 2 . 論文標題 逆転の発想で「再配達」を減らす 3 . 雑誌名 エコノミスト	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 48-49
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 堀井 亮 2 . 論文標題 逆転の発想で「再配達」を減らす 3 . 雑誌名 エコノミスト	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 48-49
ISER Discussion Paper	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 48-49 査読の有無 無
ISER Discussion Paper 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-52 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 97(11) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 48-49 査読の有無

1.著者名	4.巻
堀井 亮	97(5)
2.論文標題	5.発行年
将来志向の違いで見る貿易戦争	2019年
行不心門の座りて兄る貞勿我子	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
エコノミスト	48-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
	<i>***</i>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
- 1 ・ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	96(44)
福介 光	33(11)
2 . 論文標題	5.発行年
P. ローマー『内生的経済成長論』研究開発重視の政策に多大な影響	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
エコノミスト	76-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	1 4 *
1.看有有 石堂 詩乃,髙槻 泰郎,上東 貴志	4.巻 15
订圣 时刀,向佩 氽即,上米 其心	13
2.論文標題	5.発行年
「丁稚」か「Salary man」か : 神戸高等商業学校卒業生のキャリア選択	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
企業家研究	25-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
<u> </u>	<i>~</i> ``
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4	1 4 24
1. 著者名	4.巻 71
KODIOTO NOKOLIMO ODO LOICILL UKOZOKI	<i>I</i> 1
Kentaro Nakajima and Tetsuji Okazaki	
	5.発行年
2. 論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's	5.発行年 2018年
2. 論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period	2018年
2. 論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3. 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period	2018年
2.論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3. 雑誌名 The Economic History Review	2018年 6 . 最初と最後の頁 593-616
2.論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3.雑誌名 The Economic History Review 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 593-616 査読の有無
2. 論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3. 雑誌名 The Economic History Review 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/ehr.12535	2018年 6 . 最初と最後の頁 593-616
2.論文標題 The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's Colonization of Korea during the Pre-war Period 3.雑誌名 The Economic History Review 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 593-616 査読の有無

	4 **
1 . 著者名	4.巻
Hiroyasu Inoue, Kentaro Nakajima and Yukiko Umeno Saito	62
2 - 5-A	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Localization of Collaborations in Knowledge Creation	2019年
	c = 271 = 27 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Annals of Regional Science	119-140
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00168-018-0889-y	無
+ f\v25+7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
1 3247	4 *
1. 著者名	4 . 巻
Makoto Watanabe	69-2
2 - 经分证证	F 整仁在
2 . 論文標題	5.発行年
Middlemen: the visible market makers	2018年
o kt학호	6 月初11日後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Economic Review	156-170
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/jere.12168	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
オーノンアフ じん こはない、 又はオーノンアフ じんか 回来	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kumamoto Shin-Ichiro、Kamihigashi Takashi	0
2.論文標題	5 . 発行年
Power Laws in Stochastic Processes for Social Phenomena: An Introductory Review	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Physics	-
Troitters in Thysics	
掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	
	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphy.2018.00020	
10.3389/fphy.2018.00020	査読の有無 有
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス	査読の有無
10.3389/fphy.2018.00020	査読の有無 有
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2.論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2 . 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2. 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3. 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2 . 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2.論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3.雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2. 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2.論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3.雑誌名 Journal of Economic Theory	重読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 288~299
10.3389/fphy.2018.00020 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2. 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	重読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 288~299
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Camacho Carmen、Kamihigashi Takashi、Saglam Cagri 2 . 論文標題 Robust comparative statics for non-monotone shocks in large aggregative games 3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 174 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 288~299

1.著者名	4.巻
Chen Jinhui, Takiguchi Tetsuya, Takatsuki Yasuo, Itoh Munehiko, Kamihigashi Takashi	1
2 . 論文標題	5.発行年
An Al-based approach to auto-analyzing historical handwritten business documents:	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Computational Social Science	167 ~ 185
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1007/s42001-017-0009-2	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Kamihigashi Takashi	91
2.論文標題	5.発行年
A Simple optimality-based no-bubble theorem for deterministic sequential economies with strictly monotone preferences	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Mathematical Social Sciences	36 ~ 41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.mathsocsci.2017.10.006	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Inoue Hiroyasu, Nakajima Kentaro, Saito Yukiko Umeno	43
2 . 論文標題	5.発行年
Localization of knowledge-creating establishments	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan and the World Economy	23 ~ 29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.japwor.2017.09.001	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
3 フングラとがではない、人はら フングラとバル 田来	
1 . 著者名	4. 巻
Watanabe Makoto	69
2 . 論文標題	5 . 発行年
Middle Men: The Visible Market-Makers	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Japanese Economic Review	156 ~ 170
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1111/jere.12168	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
Marc Muller and Makoto Watanabe	47
2 . 論文標題	5 . 発行年
Competition in the presence of individual demand uncertainty	2016年
competition in the processes of marviagar demand affect tarity	2010
	6.最初と最後の頁
RAND Journal of Economics	
KAND JOURNAL OF ECONOMICS	273-292
	**** o + fm
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Christian Holzner and Makoto Watanabe	-
on retrain north and manore naturate	
2.論文標題	5.発行年
·····-	
Intermediation services and search frictions	2017年
- Abbet 61	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tinbergen institute Working Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
	該当する
オーゴンマクセフレーゲハス(また スの子字でも2)	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	欧ヨッシ
	•
1 . 著者名	4 . 巻
	•
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang	4.巻 forthcoming
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題	4.巻 forthcoming
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang	4.巻 forthcoming 5.発行年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function	4.巻 for thcoming 5.発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function	4.巻 for thcoming 5.発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics	4 . 巻 forthcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名 Japanese Economic Review	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名 Japanese Economic Review 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名 Japanese Economic Review	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名 Japanese Economic Review 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/jere.12080	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
1 . 著者名 Lee, Sokbae, Ryo Okui & Yoon-Jae Whang 2 . 論文標題 Doubly Robust Uniform Confidence Band for the Conditional Average Treatment Effect Function 3 . 雑誌名 the Journal of Applied Econometrics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jae.2574 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Okui, Ryo 2 . 論文標題 Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences 3 . 雑誌名 Japanese Economic Review 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 国際共著 該当する 4 . 巻 for thcoming 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

1.著者名	1 . "
	4 . 巻
Liu, Qingfeng, Ryo Okui & Arihiro Yoshimura	35
0. AA-1/EFF	- 7V./- hr
2.論文標題	5.発行年
Generalized Least Squares Model Averaging	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Econometric Reviews,	1692-1752
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/07474938.2015.1092817	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T w
1.著者名	4 . 巻
Lise Clain-Chamosset-Yvrard and Takashi Kamihigashi	68
2.論文標題	5 . 発行年
International Transmission of Bubble Crashes in a Two-Country Overlapping Generations Model	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Mathematical Economics	115-126
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s13660-016- 1288-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Takashi Kamihigashi and John Stachurski	163
•	
2.論文標題	5 . 発行年
Seeking Ergodicity in Dynamic Economies	2016年
Seeking Ergodicity in Dynamic Economies	
Seeking Ergodicity in Dynamic Economies 3.雑誌名	2016年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Economic Theory	6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Economic Theory	6.最初と最後の頁 900-924
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 900-924 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 900-924 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2 . 論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3 . 雑誌名 RAND Journal of Economics	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 forthcoming
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3.雑誌名 RAND Journal of Economics	6 . 最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 forthcoming 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 forthcoming
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2 . 論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3 . 雑誌名 RAND Journal of Economics	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 forthcoming
3 . 雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2 . 論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3 . 雑誌名 RAND Journal of Economics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 forthcoming 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 forthcoming
3.雑誌名 Journal of Economic Theory 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2016.03.006 オーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 Makoto Watanabe, Marc Moller 2.論文標題 Competition in the presence of individual demand uncertainty 3.雑誌名 RAND Journal of Economics	6 . 最初と最後の頁 900-924 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 forthcoming 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 forthcoming

4 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	1 244
1 . 著者名	4 . 巻
Makoto Watanabe, Marc Moller	#16-020
2.論文標題	5.発行年
Market Structure and Advance Selling	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Tinbergen Institute Working Paper	1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.2139/ssrn.2757590	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4.巻
Makoto Watanabe, Christian Holzner	#15-017
2.論文標題	5.発行年
Understanding the Role of the Public Employment Agency	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tinbergen Institute Working Paper	1-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
T. 有有有 Ryo Okui	4 · 당 forthcoming
2 . 論文標題	5.発行年
Misspecification in Dynamic Panel Data Models and Model-free Inferences	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Economic Review	forthcoming
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/jere.12080	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カーフンテッとへ Clads い、 Xldカーフンテッピ 人が凶難	
1.著者名	4 . 巻
Liu, Qingfeng, Ryo Okui & Arihiro Yoshimura	forthcoming
2.論文標題	5.発行年
Generalized Least Squares Model Averaging	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Econometric Reviews	forthcoming
といっては、「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	杏蒜の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/07474938.2015.1092817	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/07474938.2015.1092817 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1.著者名	4 . 巻
Takashi Kamihigashi, Lise Clain-Chamosset-Yvrard	forthcoming
2.論文標題	5.発行年
International Transmission of Bubble Crashes in a Two-Country Overlapping Generations Model	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Mathematical Economics	forthcoming
Courties of mathematical Economics	Tot thoomring
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.jmateco.2016.01.004	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Takashi Kamihigashi, John Stachurski	forthcoming
2 . 論文標題	5.発行年
Stability Analysis for Random Dynamical Systems in Economics	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Rabi N. Bhattacharya: Selected Papers, springer	forthcoming
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Takashi Kamihigashi, Kevin Reffett and Masayuki Yao	4 . 술 11 (4)
2.論文標題	5 . 発行年
An Application of Kleene's Fixed Point Theorem to Dynamic Programming: A Note	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	429-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1111/ijet.12074	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
I.看自台 Takashi Kamihigashi	4.술 Volume 11, Issue 1
2.論文標題	5.発行年
Multiple Interior Steady States in the Ramsey Model with Elastic Labor Supply	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Economic Theory	25-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1111/ijet.12050	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計91件(うち招待講演 31件/うち国際学会 46件)
1. 発表者名 堀井 亮
2.発表標題 リスクと経済成長のサステナビリティ
3 . 学会等名 神戸大学基盤S科研費ワークショップ(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 堀井 克
2.発表標題 経済成長はいつまで続く?
3 . 学会等名 ラボカフェスペシャル feat . 鉄道芸術祭(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 堀井 亮
2 . 発表標題 A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
3.学会等名 東北大学現代経済学研究会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 堀井 克
2 . 発表標題 A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
3.学会等名 SURED 2020 - Monte Verita Conference on Sustainable Resource Use and Economic Dynamics(国際学会)
4.発表年 2020年

1. 発表者名
堀井 - 亮 Table Ta
2 . 発表標題
A Generalized Uzawa Theorem and Capital-Augmenting Technological Change
」 3.学会等名
3 . 子云寺日 第21回 マクロコンファレンス
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
堀井 亮
Technological Change and Economic Growth
3.学会等名
Workshop at Kobe University(招待講演)
4 · 光农中
2013+
1.発表者名
- Table Ta
2.発表標題
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3 . 学会等名
Society for Economic Dynamics 2019 Meeting (WUSTL)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
ישירו אני
2.発表標題
Comment on "Dynamic Model under Positive Labour Utility and Time Constraints
3. 구도ਚਰ Japanese Economic Association 2019 Spring Meeting (Musashi University) (招待講演)
Gapaness Ession 700001411011 2010 Opting mosting (maddoin officers) (自自由的次)
2019年

1 . 発表者名 堀井 · 亮
2 . 発表標題 Sustainability of Environment and Economic Growth
3.学会等名 Workshop hosted by General Council Chairperson (Tokyu capitol hotel, Tokyo)(招待講演)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 堀井 亮
2 . 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3 . 学会等名 Midwest Macroeconomics Meetings (University of Georgia) (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 堀井 亮
2.発表標題 生産関数と技術進歩
3 . 学会等名 基盤研究 研究会(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 On the Use of Satellite-Based Vehicle Flows Data to Assess Local Economic Activity: The Case of Philippine Cities
3 . 学会等名 2021 Asia Impact Evaluation Conference(国際学会)
4.発表年 2021年

1.発表者名
中島賢太郎
2 . 発表標題
On the Use of Satellite-Based Vehicle Flows Data to Assess Local Economic Activity: The Case of Philippine Cities
3.学会等名
応用地域学会年次大会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
Kentaro Nakajima
2 . 発表標題
Estimating the Impact of Land Use Regulation on Land Price: At the Kink Point of Building Height Limits in Fukuoka
2
3.学会等名
15th North American Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
(Elby 1 A)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
Kentaro Nakajima
2.発表標題
Estimating the Impact of Land Use Regulation on Land Price: At the Kink Point of Building Height Limits in Fukuoka
3.学会等名
10th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
4 改主ケ
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
中島賢太郎
2.発表標題
Consumption Access and the Spatial Concentration of Economic Activity: Evidence from Smartphone Data
3.学会等名
京都大学都市経済ワークショップ(招待講演)
Commercial and Commercial Commerc
4 . 発表年
4 . 発表年 2021年
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
Kentaro Nakajima
2 英丰福度
2.発表標題
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price: At the Kink Point of Building Height Limits in Fukuoka
2 24 44 4
3.学会等名
第34回応用地域学会
4.発表年
2020年
20204
1.発表者名
Kentaro Nakajima, Keisuke Takano
2 . 発表標題
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price: At the Kink Point of Building Height Limits in Fukuoka
,
2 24/4/4
3 . 学会等名
The First Workshop on "Adjustment to Globalization"
2020年
1.発表者名
Kentaro Nakajima, Keisuke Takano
Norther Managinia, Northern Managinia
2.発表標題
2.発表標題 Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演)
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演)
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演)
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名 经済学研究会 (招待講演)
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名 経済学研究会(招待講演) 4 . 発表年
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名 经済学研究会 (招待講演)
Estimating the Impact of Building Height Restrictions on Land Price 3 . 学会等名 The First Workshop on "Adjustment to Globalization" (招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 中島賢太郎 2 . 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors 3 . 学会等名 経済学研究会(招待講演) 4 . 発表年

1. 発表者名
中島賢太郎
া স্টাব্যালয়ের Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
impact of northprace communication networks on Frouderivity. A new approach comp nearable consors
3.学会等名
9th Meetings on Applied Economics and Data Science(招待講演)
(Salismon)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
中島賢太郎
2 . 発表標題
Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
and the second s
3.学会等名
14th Meeting of the Urban Economics Association
. The fee
4. 発表年
2019年
. ****
1. 発表者名
中島賢太郎
天証即印経계子
経済学研究会(招待講演)
manus a responsibility
2019年
1.発表者名
中島賢太郎
2.発表標題
The Impact of the Opening of High-Speed Rail on Innovation
3.学会等名
都市経済ワークショップ(招待講演)
4 . 発表年
2019年

1.発表者名
中島賢太郎
2. 発表標題
実証都市経済学
3.学会等名
数理モデリング研究会(招待講演)
4.発表年
4 · 光表年 2019年
1.発表者名 Kentaro Nakajima
······································
2.発表標題
Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
3 . 学会等名 9th European Meeting of the Urban Economics Association
4. 発表年 2010年
2019年
1.発表者名
上東 貴志
2. 双车辆码
2 . 発表標題 ポストコロナ社会における政策決定
3 . 学会等名
第12回横幹連合コンファレンス 特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合
4.発表年
2021年
1.発表者名
1. 光衣有有 上東 貴志
2.発表標題
社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発
3.学会等名
3 . 子云寺石 第12回横幹連合コンファレンス 特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
KAMIHIGASHI Takashi
2.発表標題
Creating Value for the Future of AI and Society
ordering rando for the ratale or in and decret,
3.学会等名
International Conference on Creating Value for the Future of AI and Society(招待講演)(国際学会)
, The tr
4. 発表年
2019年
1.発表者名
KAMIHIGASHI Takashi
2.発表標題
Value and Evaluation in Economics and AI
Taras and Extraction in Economics and Ar
3.学会等名
International Conference on Creating Value for the Future of AI and Society(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
Ryo Horii
Nye heri.
2.発表標題
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
W + W +
3. 学会等名
Macro Seminar (AMSE, Aix-Marseille University)(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Ryo Horii
0 PV = 18 0X
2.発表標題
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3.学会等名
3 . 学会等名 OSIPP Economics Brownbag Seminar (招待講演)
OSIPP Economics Brownbag Seminar(招待講演)
OSIPP Economics Brownbag Seminar (招待講演) 4 . 発表年
OSIPP Economics Brownbag Seminar(招待講演)
OSIPP Economics Brownbag Seminar (招待講演) 4 . 発表年

1.発表者名 Ryo Horii
Nyo norti
2.光衣標題 なぜ貿易不均衡は起きるのか?『行動経済学』で解明する
3 : デムサロ 在阪報道関係者と大阪大学との懇談会
4. 発表年
2018年
1.発表者名
Ryo Horii
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3 . 学会等名
Tongji University Economics and Finance Academic Seminar(招待講演)
4 . 完衣牛 2018年
2010—
1.発表者名
堀井 亮
2 . 発表標題
長期経済成長における土地と自然資源の役割について
3.学会等名
リスク研究センター マクロ経済学セミナー(招待講演)
2018年
1. 発表者名
Takashi Kamihigashi
2.発表標題
A Dynamic General Equilibrium IS-LM Model
2
3.学会等名 Sapporo Summer Workshop on Monetary and Financial Economics 2018(北海道大学)(招待講演)
cappore cummer nervence or monerary and inhancial Economics 2010(Ab/専建八子)(頂頂佛/央)
4.発表年
2018年

1. 発表者名
中島 賢太郎
2.発表標題
都市とイノベーション
HP/PC TV V Z J Z
3.学会等名
日本経済学会秋季大会(招待講演)
A TV # Tr
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
Kentaro Nakajima
2.発表標題
Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
Tability ing Nergiberhood Errore among Frince. Evidence from the Education Education Education Education
3.学会等名
Society for Economic Dynamics Annual Meeting(国際学会)
. Wet
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
Kentaro Nakajima
Kentaro Nakajima
Kentaro Nakajima
Kentaro Nakajima
2 . 発表標題
2 . 発表標題
2 . 発表標題
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学)
2.発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3.学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4.発表年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学)
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年
2.発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3.学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4.発表年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(早稲田大学)
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(早稲田大学) 4 . 発表年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(早稲田大学)
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(早稲田大学) 4 . 発表年
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(東京理科大学) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 経済学ワークショップ(早稲田大学) 4 . 発表年

1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3 . 学会等名 GRIPS/U-Tokyo Applied Economics Workshop
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3 . 学会等名 経済学ワークショップ(横浜国立大学)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3 . 学会等名 経済学ワークショップ(北海道大学)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2 . 発表標題 Intermediation and reputation
3 . 学会等名 SUNYGame theory conference(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2.発表標題
Rational bubbles and middlemen
3 . 学会等名
Midwest Macro meetings in Madison(国際学会) 4.発表年
2018年
1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2 . 発表標題 Banking panics and the lender of last resort in a monetary economy
3.学会等名 Summer Workshop on Money, Banking, Payments and Finance in St. Luis FED (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2 . 発表標題 Endogenous repo cycles
3 . 学会等名 U Nottingham Ningbo China (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Ryo Horii
2 . 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
3.学会等名 5th Joint Economic Workshop in Economics Between Faculty of Economics, Chulalongkorn University, Graduate School of Economics, Osaka University, And Institute of Social and Economic Research (招待講演) (国際学会) 4.発表年
2017年

1.発表者名
Ryo Horii
.ye .e
a TV-t-1202
2.発表標題
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
2 24 6 00 53
3.学会等名
Policy Modeling Workshop(招待講演)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Ryo Horii
190 10111
2.発表標題
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
. **
3.学会等名
International Conference on Trade, Financial Integration and Economic Growth 2017(招待講演)(国際学会)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4.発表年
2017年
1.発表者名
Ryo Horii
2.発表標題
2 . 発表標題 A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3.学会等名
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3.学会等名
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演)
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演)
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会) 4 . 発表年
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
A Multi-factor Uzawa Growth Theorem and Endogenous Capital-Augmenting Technological Change 3 . 学会等名 the WINPEC Seminar (招待講演) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 Kentaro Nakajima 2 . 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market 3 . 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名
Kentaro Nakajima
2 7K ≠ 1# D#
2.発表標題
Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3.学会等名
12th Meeting of the Urban Economics Association(国際学会)
A The tr
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
Kentaro Nakajima
2.発表標題
Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
, g and the second of the seco
2
3.学会等名
EHESS-Keio University Workshop(国際学会)
4.発表年
2019年
1
1 . 発表者名
Makoto Watanabe
2.発表標題
Market-making middlemen
3.学会等名
European Economic Association meeting(国際学会)
and the second control of the second
4.発表年
94. 74X+
2016年
1.発表者名
Makoto Watanabe
2、 7% 士 4班 日本
2.発表標題
Understanding the role of the Public Employment Agency
3 . 学会等名
European Economic Association meeting(国際学会)
4. 発表年
2016年
4010 1
2V10 *Γ
2010

1.発表者名 Ryo Okui
2. 発表標題 Confidence set for group membership
3. 学会等名 2016 Japan-Korea Allied Conference in Econometrics(国際学会)
4.発表年 2016年
1.発表者名 Ryo Okui
2 . 発表標題 Panel Data Analysis with Heterogeneous Dynamics
3 . 学会等名 Lund University Seminar
4.発表年 2016年
1.発表者名
Ryo Horii
2. 発表標題 THE DYNAMICS OF US-JAPAN CURRENT ACCOUNT IMBALANCE
3.学会等名 Abe Fellow Retreat 2016(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2.発表標題 Market-making middleman
3. 学会等名 Seminar presentation (国際学会)
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 Makoto Watanabe
2.発表標題 Market-making middleman
3.学会等名 Seminar presentation (国際学会)
4 . 発表年 2015年
1.発表者名 Makoto Watanabe
2.発表標題 Market-making middleman
3.学会等名 International Industrial Organization Conference annual meeting(国際学会)
4.発表年 2015年
1 . 発表者名 Makoto Watanabe
Makoto Watanabe 2 . 発表標題
Makoto Watanabe 2.発表標題 Market-making middleman 3.学会等名
Makoto Watanabe 2.発表標題 Market-making middleman 3.学会等名 16th CEPR-JIE School and Conference on Applied Industrial Organization (国際学会) 4.発表年
Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Market-making middleman 3 . 学会等名 16th CEPR-JIE School and Conference on Applied Industrial Organization (国際学会) 4 . 発表年 2015年
Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Market-making middleman 3 . 学会等名 16th CEPR-JIE School and Conference on Applied Industrial Organization (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題
Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Market-making middleman 3 . 学会等名 16th CEPR-JIE School and Conference on Applied Industrial Organization (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Market-making middleman

1.発表者名
Makoto Watanabe
2 . 発表標題
Competitive sequential search equilibrium
N. A. S. C.
3 . 学会等名
Search and Switching Conference(国際学会)
4 . 発表年
2015年
1.発表者名
Makoto Watanabe
2 . 発表標題
Understanding the role of the Public Employment Agency
W-14-
3.学会等名
CESifo Area Conference on Employment and Social Protection(国際学会)
4 . 発表年
2015年
1.発表者名
1 . 発表者名 Bo Hu, Makoto Watanabe
Bo Hu, Makoto Watanabe
Bo Hu, Makoto Watanabe 2.発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe
Bo Hu, Makoto Watanabe 2.発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe 2.発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting(国際学会)
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting(国際学会) 4 . 発表年
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting(国際学会)
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting(国際学会) 4 . 発表年 2015年
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting(国際学会) 4 . 発表年 2015年
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency 3 . 学会等名 European Economic Association meeting (国際学会)
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency 3 . 学会等名 European Economic Association meeting (国際学会) 4 . 発表年
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency 3 . 学会等名 European Economic Association meeting (国際学会)
Bo Hu, Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Marketmaking middleman 3 . 学会等名 EARIE meeting (国際学会) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 Makoto Watanabe 2 . 発表標題 Understanding the role of the Public Employment Agency 3 . 学会等名 European Economic Association meeting (国際学会) 4 . 発表年

1. 発表者名
Makoto Watanabe
つ マレ 士 4 邢 月下
2.発表標題
Market-making middleman
3 . 学会等名
Toulouse School of Economics Seminar Presentation(国際学会)
4.発表年
2015年
4 7V±+v4
1. 発表者名
Competitive sequential search equilibrium
2.発表標題
Competitive sequential search equilibrium
3. 学会等名
Workshop presentation, VU Amsterdarm (国際学会)
morted procedured in (Elight 2)
4.発表年
2015年
1.発表者名
1.発表者名 渡辺誠
1.発表者名 渡辺誠
渡辺誠
渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠
渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会)
渡辺誠 2.発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3.学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4.発表年
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会)
渡辺誠 2. 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3. 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4. 発表年 2016年
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
渡辺誠 2. 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3. 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4. 発表年 2016年
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman 3 . 学会等名
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman 3 . 学会等名 首都大学東京 経済学セミナー
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会(国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman 3 . 学会等名 首都大学東京 経済学セミナー 4 . 発表年
渡辺誠 2 . 発表標題 Competitive sequential search equilibrium 3 . 学会等名 サーチ理論研究会 (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名 渡辺誠 2 . 発表標題 Market making middleman 3 . 学会等名 首都大学東京 経済学セミナー

1.発表者名
Makoto Watanabe
2.発表標題
Understanding the role of the Public Employment Agency
3.学会等名
University of Munich, Seminar presentation(国際学会)
4.発表年
2016年
1.発表者名
Makoto Watanabe
Understanding the role of the Public Employment Agency
energiand the rate of the rabite Empreyment Agency
3. チ云ਚਰ IZA/ CREST/Bonn University Workshop: Employment Policies and heterogeneity in the Labor Market(国際学会)
12n, onlongonin oniversity notrollop. Limproyindit Futicies and neterogeneity in the Labot Market (四味子云)
□
2016年
1 改主业权
1. 発表者名
渡辺誠
2. 発表標題
Marketmaking middleman
3.学会等名
慶応義塾大学、セミナー発表
4.発表年
2016年
1.発表者名
T. H.
//スパニ RPA
্টি সংক্ষার বিদ্যালয় বিদ
onderstanding the fore of the rubite emproyment Agency
3 . 学会等名
マクロ経済学・エコフィジックスワークショップ
4. 発表年
2016年

1.発表者名
渡辺誠
2.発表標題
Understanding the role of the Public Employment Agency
3 . 学会等名 有賀健教授退官記念カンファレンス
4 . 発表年 2016年
1.発表者名
奥井亮
2.発表標題
MISSPECIFICATION IN DYNAMIC PANEL DATA MODELS AND MODEL-FREE INFERENCES
□ 3.学会等名
日本経済学会春季大会(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2015年
1.発表者名 奥井亮
2732
2. 発表標題 DOUBLY ROBUST UNIFORM CONFIDENCE BAND FOR THE CONDITIONAL AVERAGE TREATMENT EFFECT FUNCTION
3.学会等名
3.子云寺石 Frontiers of Theoretical Econometrics in celebration of Don Andrews' 60th birthday
4.発表年
2015年
1.発表者名
2. 発表標題
Panel Data Analysis with Heterogeneous Dynamics
3.学会等名 Princeton-QUT-SJTU-SMU conference(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2015年

1. 発表者名
奥井亮
2 発主価略
2 . 発表標題
Panel Data Analysis with Heterogeneous Dynamics
Netherlands Econometric Study Group(招待講演)(国際学会)
A BET
4 . 発表年
2015年
. 75.4.6
1. 発表者名
奥井亮
2. 発表標題
Panel Data Analysis with Heterogeneous Dynamics
5 WARE
3.学会等名
Econometric Society World Congress (国際学会)
4. 発表年
2015年
1.発表者名
奥井亮
2. 発表標題
Panel Data Analysis with Heterogeneous Dynamics
a. W.A.M.C.
3.学会等名
UvA- Econometrics Panel Data Workshop(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2016年
1.発表者名
Takashi Kamihigashi
2.発表標題
Computational Methods in Dynamic Macroeconomics
3.学会等名
3 . 学会等名 Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan (国際学会)
Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan(国際学会)
Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan (国際学会) 4.発表年
Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan(国際学会)
Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan (国際学会) 4.発表年
Computational Social Science Japan Kickoff Workshop in Japan (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名 上東貴志
2 . 発表標題 利益相反の分類と社会組織の安定性
3.学会等名
公開シンポジウム「リスク社会における公共性の構造転換と社会関係資本 - 計算社会科学からの挑戦 - 4 . 発表年
2016年
1 . 発表者名 Takashi Kamihigashi
2 . 発表標題 Robust Comparative Statics of Non-Monotone Shocks in Large Aggregative Games
3 . 学会等名 Time, Uncertainties and Strategies(国際学会)
4.発表年 2015年
1.発表者名 Takashi Kamihigashi
2 . 発表標題 A Dynamic General Equilibrium IS-LM Model
3 . 学会等名
Singapore Economic Review Conference 2015 (国際学会) 4 . 発表年
2015年
1 . 発表者名 Takashi Kamihigashi
2. 発表標題
Seeking Ergodiciy in Economic Models
3 . 学会等名 15th SAET Confernce on Current Trends in Economics 2015 (国際学会)
4.発表年 2015年

1.発表者名
Takashi Kamihigashi
2 . 発表標題
A Dynamic General Equilibrium IS-LM Model
3.学会等名
マクロ・金融ワークショップ
4 . 発表年
2015年
2010-
1 . 発表者名
Takashi Kamihigashi
2.発表標題
A Dynamic General Equilibrium IS-LM Model
2 24 4 75 75
3.学会等名
IEFS Japan Annual Meeting 2015(国際学会)
4.発表年
2015年
1.発表者名
Takashi Kamihigashi
2. 発表標題
A Dynamic General Equilibrium IS-LM Model
3.学会等名
13th Viennese Workshop Optimal Control and Dynamic Games(国際学会)
The second secon
4 . 発表年
2015年
—+:+ i

〔図書〕 計1件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6.研究組織

	· W 乙元百吨			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	上東 貴志	神戸大学・計算社会科学研究センター・教授		
研究分担者				
	(30324908)	(14501)		

6	研究組織	(つづき	,

	・別が温敞(プラミ)			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	中島 賢太郎	一橋大学・大学院経営管理研究科・准教授		
研究分担者				
	(60507698)	(12613)		
	奥井 亮	京都大学・経済研究所・准教授		
研究分担者	(Okui Ryo)			
	(20563480)	(14301)		

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	渡辺 誠	ティンバーゲン研究所・Research Fellow	
研究協力者	(Makoto Watanabe)		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
社研ゲストレクチャーシリーズ「資産バブルと経済成長」	2021年~2021年
<u></u>	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
オランダ	アムステルダム自由大学	ティンバーゲン研究所		
米国	ウィリアムズ大学	ブラウン大学		